

平成 26 年 6 月定例議会

戸沢ひろゆき議員の一般質問

就学援助制度についてであります。義務教育費は、市民各家庭での収入が減少している中で支出の比率が大きくなっております。憲法第 26 条の第 2 項において、「義務教育は無償とする」という法の精神からも、この制度の活用は子育て支援として大切な制度でございます。そこで次の質問を行います。

- 1) 多摩地区の自治体での認定家庭の動向は。
- 2) 保護者に制度の十分な周知がされているか、ということでお伺いいたします。

合併 20 周年を総括することについてであります。来年度は秋川市と五日市町が合併して 20 年が経過いたします。

各種イベントに 20 周年記念の「冠」をつけて事業を行うと聞いております。この 20 年間、地方自治の本来の任務である住民の福祉の増進が合併によりどう前進してきたのか、以下に質問いたします。

- 1) 合併により福祉の充実が進み、住んでいて安心できるようになったか。
- 2) 合併により財政運営が充実し、まちづくりの前進はできたか。
- 3) 合併により市域が広がったため、市民のコミュニティの充実は大変だったと思う。どのような評価をしているのか。
- 4) 市民が主役の行政運営がどのように進められ充実してきたか。